

地 方 小 版 情 報 誌 アクセス

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

「地方史 郷土史」特設コーナー
セブンネットショッピングで展開中

文・本庄 徹



特設コーナーの URL : <http://www.7netshopping.jp/spc/shop/history/>

■ネット初の試み

2011年秋、毎週、行っているトーハン様との打ち合わせでその話は持ちあがった。「地理歴史の書籍カテゴリで何か面白い企画はできないか…」弊社サイトには、文芸書、ビジネス書、生活関連本をはじめとする計27のカテゴリがあり、各カテゴリで、季節性に沿ったフェアや流行となっている書籍、特典商品を紹介する様々な企画を展開している。歴史・地理カテゴリも他のカテゴリと同様に、サイトに訪れるお客様の目を引くような企画を打ち立てようと考えたのだ。打ち合わせの中、ある話がふと持ちあがった。「各地方の出版社から刊行している、地方史や郷土史を集め、リアルの書店に受け取らない、特設コーナーを展開しよう。」この考えが後の「地方史郷土史特設コーナー」設立の始まりであった。

■設立までの道のり

企画が持ち上がってからというもの、設立までの道のりは長かった。まず、地方小様、トーハン様にご協力を頂いて対象となる商品の在庫化を進めた。在庫強化をすることによって、対象となる商品を購入されたお客様に、当日起から2日という短い期間で、商品をお届けする事が可能となるからである。ネットで商品を展開するにあたり、早い期間でお届けする事は重要な前提である。しかし、それ以上に必要とされる事が「商品情報の充実」であった。

ネットで書籍を販売する上で、現物の中身が見られないゆえ、どういう本なのかわかりにくいというのは大きな欠点である。書誌情報が少ない商品は、お客様の購入までに至らないという傾向があったのだ。その欠点を克服するために、対象となる商品を刊行し

ている出版社様に対し、一斉に特設コーナー設立の為の協力要請書（書誌情報のご提供を依頼する要請書）を送った。数日たって、続々と出版社様から、参加に関する返信や質問事項の書かれたメールが送られてきた。私は、通常の業務をこなしながら、地方史郷土史特設コーナー設立に向けて、参加出版社様のリスト整理や、ご質問への返答に追われた。

■都道府県別のカテゴリ分け

協力要請書のリストがある程度まとまったところで、地方史郷土史の特設コーナーに協力して下さる出版社様に対して、再度、書誌情報をご入力して頂くフォーマットをメールで送った。その数約130社。私は130社もの出版社様特設コーナーの設立に協力してくれる事に感激した。

その嬉しさの一方で、特設コーナーを設立するにあたり一番の山場があつた。それは、都道府県別のカテゴリわけである。トーハン様から送られた歴史・地理カテゴリに該当する商品リストを基に一つ一つの商品を目検でチェックし、約300もある銘柄を「北海道・東北エリア」、「関東エリア」、「中部エリア」、「近畿エリア」、「中国・四国エリア」、「九州エリア」、「沖縄エリア」の7つのエリアに分け、さらに、該当する書籍の書名や書誌情報をたどりながら、47都道府県に振り分ける。東北出身、関東在住の私にとっては、ある程度、東北と関東の旧地名や方言は知識として持っていたいので、書名をたどりながら、該当のカテゴリに振り分けることはできたのだが、一度も関わった事のないエリアの旧地名や方言を基に、カテゴリ分けをするのは、大変苦労した。

■地方史・郷土史特設口二十二室成

2011年秋の企画立案から、トーハン

様、地方小様へご協力頂いた商品の在庫化、各出版社様にご協力頂いた書誌情報の追加、自身の大きな壁でもあった該当商品のカテゴリ分け、これらを乗り越え、2012年2月、地方史・郷土史特設コーナーは、リリースを迎えた。約5ヶ月という長い期間を要したリリースであった。

■特設コーナー設立後の書籍売上

地方史郷土史特設コーナー設立後、地方小様で流通している歴史・地理カテゴリー書籍の売り上げ推移は、特設コーナー設立前の1月に比べ設立後の2月は順調に上昇した。しかし、3月4月

は緩やかに下降傾向である。

この結果を受けて、今後、新たな施策を立て、売り上げを立てなおす方針である。

■新たな挑戦

地方史・郷土史特設コーナーの挑戦は、特設コーナー設立だけでは終わらず、次の挑戦へ向かっている。例えば、弊社で5月30日からリリースが始まった「パーソナルブック」という新しいサービスである。「パーソナルブック」は、出版社様からご提供頂いた画像コンテンツ（写真や画集）を基にお客様が自ら好きな画像を選んで、自分だけの一

冊の本に編集して購入ができるサービスである。これを各地方の風景写真や、町並み、地方の有名な方がお書きになつた画集などで展開出来ると、都会に暮らす、地方出身者にとっては魅力的なサービスになるのではないかと感じている。また、地方の出版社様だからこそ付けることができる特典付き商品なども、地方の魅力を発信する一つのツールになるのではと考えている。

今後も、地方の出版社様、その地方に生きる人々の活性化につながる様なサービス、展開を考えていきたい。
(ほんじょう とおる／セブンネットショッピング歴史・地理MD担当)

新刊ダイジェスト

※価格は総額（税込）表示です。



『女友だち』 ●木村 榮著



「私の人生、自慢するものは何もないけど、友だちは恵まれたわ」「違うなあ。恵まれたのではなくて、友だちを必要とするあなたの生き方が友だちをつくってきたんだと思うわ」還暦辺りで人生を振り返りたくなる頃、著者にひらめいたある友だちとの会話。本書は著者が三十年前から気にかかっていた“女友だち”がテーマのエッセイ。実体験はもちろん、小説や映画からも読み解いた

独自の視点が光る。昔と違い、現代の女性にとって仕事と家庭の両立は普通と言われる今、女友だちはストレスに満ちた人生の必需品となった。現在、著者は闘病中だが、本を出せたのも友人のおかげと結んでいる。「友だちのいる人生」がいかに大切かを教えてくれる。

◆ 1575円・四六判・191頁・フェミックス・神奈川・2012/4刊・ISBN978-4-903579-35-1

『早川雪洲 一房総が生んだ国際俳優』 ●大場俊雄著



1957年日本人初のアカデミー助演男優賞にノミネート。世界のミフネよりも遙かに実績を残し、アメリカンドリームの体現者であった国際俳優早川雪洲。しかし、わが国での評価は必ずしも高いものではない。生年、生地ですら正しく語られてきていない。千葉県水産試験場技師となって早川の生地朝夷郡千田村（現房総市千倉町）に闇りを持った奇縁から、半世紀に及ぶ著者の早川を追う

旅が始まった。戸籍資料、渡航記録、シカゴ大学の学籍データを丹念にたどり、貧しくも情熱を滾らせた若き日の姿を浮かび上がらせる。国賊扱いの屈辱から一気に駆け昇った栄光の先にあったのはスキャンダル。目くるめき大スターの実像を描く。

◆ 1365円・新書判・180頁・嵩書房・千葉・2012/4刊・ISBN978-4-8455-0201-1

『出版社の運命を決めた一冊の本 新装版』 ●塩澤実信著



メーカーには社の命運をかけることとなる”決定的な製品”があるように、出版社にとっても運命の一冊となつた本や雑誌がある。その出版社の経済的な土台をつくったり、社の性格や方向性を決定づけた一冊のことである。

たとえば、岩波書店と夏目漱石の『こころ』、講談社と純文学雑誌『群像』の創刊、文藝春秋と『文藝春秋』昭和24年6月号、早川書房とア

ガサ・クリスティの『そして誰もいなくなった』、角川書店と横溝正史の『八つ墓村』、秋田書店と水島新司の『ドカベン』など、10社の運命の一冊が、出版された経緯やその内幕が詳しく紹介されている。出版社内部の様子ものぞけ、本好きにはたまらない一冊となっている。

◆ 2520円・四六判・269頁・出版メディアパル・千葉・2012/3刊・ISBN978-4-902251-75-3

売行良好書

期間：2012年5月16日～6月15日

[出荷センター扱い] ※税込み価格

- (1)『絵本の庭へ』3780円・東京子ども図書館 (2)『言葉のフーガ 自由に、精緻に』2520円・四明書院 (3)『モダンタイムス』1890円・ナナロク社 (4)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・書籍情報社 (5)『赤いおおかみ』2415円・古今社 (6)『水の話』1365円・石風社 (7)『アフガン民衆とともに』1785円・耕文社 (8)『私たちの選んだ子どもの本 改訂新版』1050円・東京子ども図書館 (9)『文豪たちの釣旅』1200円・フライの雑誌社 (10)『絵本を読んであげましょう』1200円・『絵本で子育て』センター (11)『希望』1890円・編集工房ノア (12)『タコと日本人』2205円・弦書房



[三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書] ※税込み価格

- (1)『東京かわら版 6月号』420円・東京かわら版 (2)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・書籍情報社 (3)『素数表150000』375円・暗黒通信団 (4)『越中中世城郭図面集鑑』2100円・桂書房 (5)『言葉のフーガ 自由に、精緻に』2520円・四明書院 (6)『円周率100万桁表』330円・暗黒通信団 (7)『三山とグスク』1848円・むぎ社 (8)『昭和プロレスマガジン 26』1000円・昭和プロレス研究室 (9)『未踏の野を過ぎて』2100円・弦書房 (10)『未来ちゃん』2100円・ナナロク社

[ジュンク堂書店池袋店地方出版社の本—センター扱い図書] ※税込み価格

- (1)『北海道キャンプ場ガイド 12-13』1365円・亜璃西 (2)『高尾山・景信山・陣馬山登山詳細図』735円・吉備人出版 (3)『殺処分ゼロの理由』1050円・熊本日日新聞社 (4)『吉田類の土佐酒note』1000円・高知新聞社 (5)『原發を拒み続けた和歌山の記録』1575円・寿郎社 (6)『祝!九州』写真集 HOME TOWN EXPRESS』2940円・書肆侃侃房 (7)『医者は現場でどう考えるか』2940円・石風社 (8)『自然農・栽培の手引き』2100円・南方新社 (9)『希望』1890円・編集工房ノア (10)『渡り鳥の世界』1260円・山梨日日新聞社

以下ホームページでも各種情報提供を行なっております。ご利用ください。
本と出版流通のページ：<http://neil.chips.jp/>

トピックス —★★★

▼6/4(月)～7/7(土) ブックファースト新宿店地下1階Aゾーンにて「故郷再発見 ~わがふるさとの一冊~」フェア開催中です。詳細やフェアコンセプトはブックファーストのウェブサイト http://www.book1st.net/event/fair/fair/#s_48 にて。▼『日本語詞の洋楽カバーおもしろ大百科』(483円)や『音頭大百科』(483円)等、とにかくおもしろいモノを集めて1冊の本にしてしまう出版社、スマート出版から最近刊行された『ダムカード大全集』という本が、近くTBS系列の生活情報番組で取り上げられることになったそうです。すでに著者の方は群馬のダム巡りの録画取材を終えているとのこと。ところで「ダムカードっていい?」と思う人も多いはず。帯文によるとダムカードとは、「国交省や独立行政法人水資源庁等が、ダムのことをもっと知ってもらおうという目的で作成した、カード型のミニパンフレット」。こう聞くと、官僚がダム啓蒙のために予算を浪費して…などと野暮なことを考えそうですが、そういう文脈からは遠く離れたところにあるのがこの本。カード収集のためにダム巡りをするようなマニアの人たち「ダムファン」や「ダムカードコレクター」が世の中には数多く存在し、その人たちなくしてダムカードは存続できなかったとも。因みに、このスマート出版の『みかんの面白いむき方大百科』(945円)や『ボードゲームカタログ』(1890円)といった本も、『ダムカード大全集』同様なんとも言えない面白さを醸し出しています。

郵便販売のご注文方法

○お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。

○送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせて頂きます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3～4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。

○なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせて頂きます。

★地方・小出版流通センター
FAX: 03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。継じて保存してください。

三省堂書店

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM～8:00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL <http://www.books-sanseido.co.jp>

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

